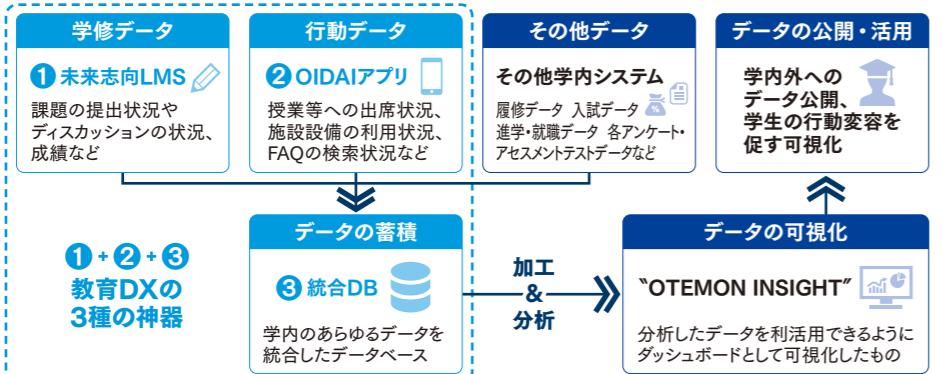


右側建物:2025年に開設する新校舎(II期棟)
左側建物:2019年に開設したI期棟



「『第二の開学』には、ハード面だけではなく教育の高度化が教育DXで推進する」

教育DXにおける関係図



「『第二の開学』には、ハード面だけではなく教育の高度化が教育DXで推進する」



学生や教職員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

学生が学ぶ教室と教員の研究室を同じフロアに配置するなど、学生と教員、また学生同士がシームレスに行き交う空間を実現。また全長250メートルに及ぶ校舎の中央を貫く廊下を「イノベーションLAB」と名付け、あらゆるところで「学びあい、教えあい」が生まれる仕掛けを施す。「異分野との偶発的な出会いこそが、イノベーションを生み出す源泉です。文理を超えたコラボレーションがそこから新しい形を体現するキャンパスになると期待しています」。

新学部増設により、学生数の増加も見込む。現在の8000人から1万人規模へと拡大し、大規模大学へ大きく前進するところになる。

追手門学院大学

<https://www.otemon.ac.jp/>
広報課 072-641-9590・入試課 072-641-9165

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

文理を超えた学びの環境と教員の声を基にアジャイル開発でバージョンアップを重ねる『OIDAIアプリ』

※学部・学科名等、記載内容は変更になる場合があります。

2025年、理工学部※新設 「第二の開学」で実現する学修者本位の学び

2025年、理工学部※の新設を目指す追手門学院大学。文理を超えた学びの環境の充実と教育DXを推進し、総合大学へと大きく進化を遂げようとしている。
制作 東洋経済企画広告制作チーム



総合大学への進化を見据え
理工学部※を新設

追手門学院大学は、2025年、同大学初の理系学部となる理工学部※を新設する予定だ。人文・社会科学系大学として認してきた同大学が理系学部を開設する狙いは、大学全体での「文理を超えた学び」の実現にある。「文系・理系といった枠にとらわれていては新しいものを生み出すことはできません。これから社会でイノベーションを創出していける人材を育成するために、文理を超えた総合大学へ進化することを目指しています」と真銅正宏学長は語る。

それに向け、19年、経営学部に情報システム専攻、21年、心理系部に人工知能・認知科学専攻、22年に文学部に美学・建築文化専攻を設け、理系分野の拡充を進めてきた。22年の国際学部、文学部に加え、23年には法

学部を開設。文系学部も拡充し、「文理を超えた学び」の基盤を強固なものにしてきた。その先にいよいよ誕生するのが、理工学部※だ。

新設される理工学部※は、理学と工学の両方の立場から、科系を統合する研究と教育を実践するために、「数理・データサイエンス学科※」「機械工学科※」「電気電子工学科※」「情報工学科※」の4学科構成とする予定だ。

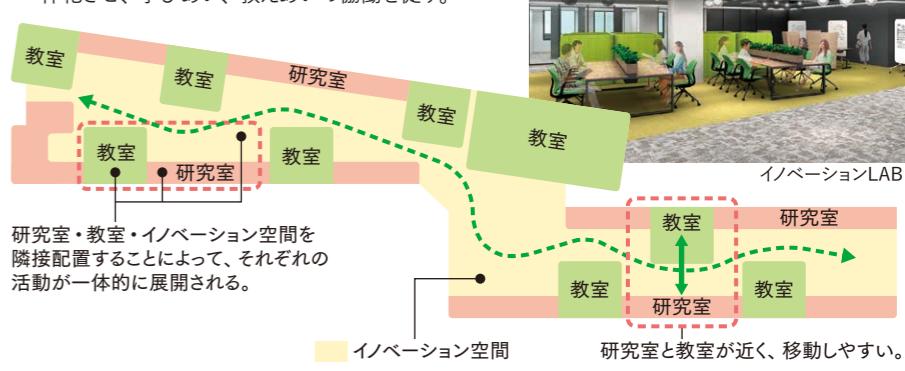
「本学の学びがさらに多様になります。理工学部※新設は総合大学に向けた新たな1歩であり、「第二の開学」と位置づけています」と力を込める。

文理を超えた学びを実現するキャンパス

同大学は、文理を超えた学びをハード面から促進するべく、キャンパスの拡充・再編も進めている。理工学部※開設と足並みをそろえ、茨木総持寺キャンパスに新校舎(II期棟)を完成させる予定だ。これを機に茨木総持寺キャンパスをメインキャンパス化し、すべての学生が集う環境を整えていく。その中核となるのが、「文理を超えたハイブリッドキャンパス」を具現化する新校舎だ。

茨木総持寺キャンパスの新校舎イメージ

教室と研究室を互い違いに配置。イノベーション空間と一体化させ、学びあい、教えあいの協働を促す。



1年次は茨木総持寺キャンパス、2年次以降は茨木安威キャンパスで学ぶ。

イノベーション空間

研究室と教室が近く、移動しやすい。